

本日の説明内容について

1. はじめに
2. 入庁からこれまでの勤務先
3. 現在の業務の内容
4. ワーク・ライフ・バランスについて
5. 最後に、本日参加していただいた皆様へ

01 はじめに

● 経歴

- ・ 茨城県出身
- ・ 大学卒業（工学部）
- ・ 2015年4月入庁（今年で11年目）

● 志望動機

- ・ 地元の茨城県の発展のため、役に立ちたい
- ・ 幅広い業務に携わりたい。

● 就活状況

- ・ 国家公務員（一般職、国税専門官）
 - ・ 特別区
 - ・ 地方公務員（市町村）
- ※民間企業は受けておりません。

● 家族構成

- ・ 妻（県職員）、子ども（男の子4歳、男の子2歳）



02 入庁からこれまでの勤務先

1 課所目

【本庁】 土木部港湾課（港湾振興、管理） 【在籍2年】 H27.4～H29.3

- ・ 港湾の利用促進や振興に関する業務
（ポートセールス、新規航路、貨物量、PR、イベント）
- ・ 港湾の管理に関する業務
（港湾施設の管理、予算）



茨城港常陸那珂港区

2 課所目

【出先機関】 総務部筑西県税事務所（収税第二課） 【在籍2年】 H29.4～H31.3

- ・ 県税（自動車税、不動産取得税など）の収納確保に向けた納付指導
（税負担の公平性の確保、租税教育）
- ・ 滞納整理に関する業務（財産調査、差押）

3 課所目

【本庁】 産業戦略部中小企業課（団体支援） 【在籍3年8カ月】 H31.4～R4.11

- ・ 高度化資金貸付金の管理（工業団地、商業施設建設、債権管理）
- ・ 新型コロナウイルス感染症に伴う事業者支援（協力金、一時金）

02 入庁からこれまでの勤務先

4 課所目

【本庁】保健医療部感染症対策課（予防対策）【在籍1年10カ月】R4.12~R6.9

- ・感染症（新型コロナウイルス感染症など）の予防・対策に係る業務（予防接種や検査の普及啓発、医療費の公費負担、外来対応医療機関）



5 課所目

【本庁】営業戦略部営業企画課（戦略・広報）【在籍1年4カ月目】R6.10~現在

- ・ふるさと納税に関する業務（返礼品の拡充、広報PR、財源確保、事業者支援）

ふるさと納税とは？



- ・応援したい自治体を自分で選んで寄附ができる制度。寄附額のうち2,000円を超える部分については、一定の上限内で、所得税および住民税から原則として全額が控除されます。
- ・茨城県庁へご寄附いただいた方には、感謝の気持ちを込めて県産品を**返礼品**としてお届けしています。（※県外在住者に限る）

02 入庁からこれまでの勤務先

営業戦略部営業企画課（戦略・広報）の業務内容

- 県広報誌「ひばり」の制作・発行（月1回）
- 茨城県テレビ広報「いばらき推し」の制作・放送（毎週金曜日）
- 県ホームページや県公式SNSでの情報発信（毎日）

など



県広報誌「ひばり」



県公式HP



県テレビ広報「いばらき推し」

03 現在の業務の内容

○ふるさと納税の業務の目的

- ① 茨城県の財源確保
- ② 茨城県の魅力発信
- ③ 茨城県内の事業者支援
- ④ 交流人口・関係人口の拡大
- ⑤ 茨城県の施策への共感・参加の促進



○目的を達成するためには？（実際の業務）

- ① 魅力ある県産品を返礼品が必要
 - ⇒茨城県産品などの返礼品の拡充（事業者訪問、商談会の参加など）
- ② 寄附者が寄附する手段の整備が必要（寄附機会の確保）
 - ⇒ふるさと納税ポータルサイトの拡充（ポータルサイト事業者と調整）
- ③ 茨城県に寄附ができることを知ってもらうことが必要。（認知拡大）
 - ⇒寄附の使い道や県産品の広報PR（HPでの案内や県外イベントでのPR）

04 ワーク・ライフ・バランスについて

○テレワーク（在宅勤務）：月に1、2日の頻度で実施

方法

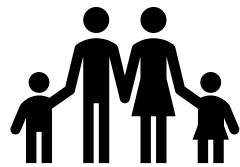


・自宅等でパソコンを使って勤務
（一人一台端末のリモート操作）

効果



出勤時の通勤時間



家族との時間の確保



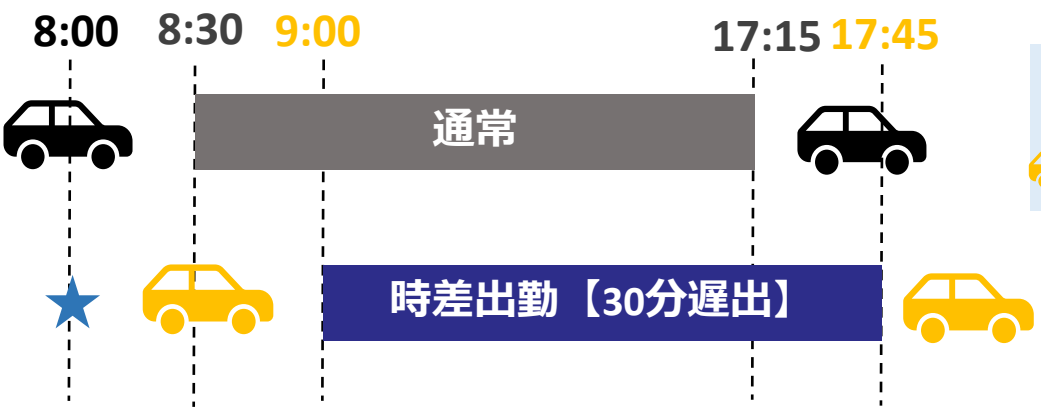
時間の有効活用

○時差出勤制度：県庁へ出勤する際は、毎日活用

方法

早出 6:30～15:15
遅出 13:00～21:45
生活スタイルに合わせて
勤務シフト選択可
(18パターン)

効果

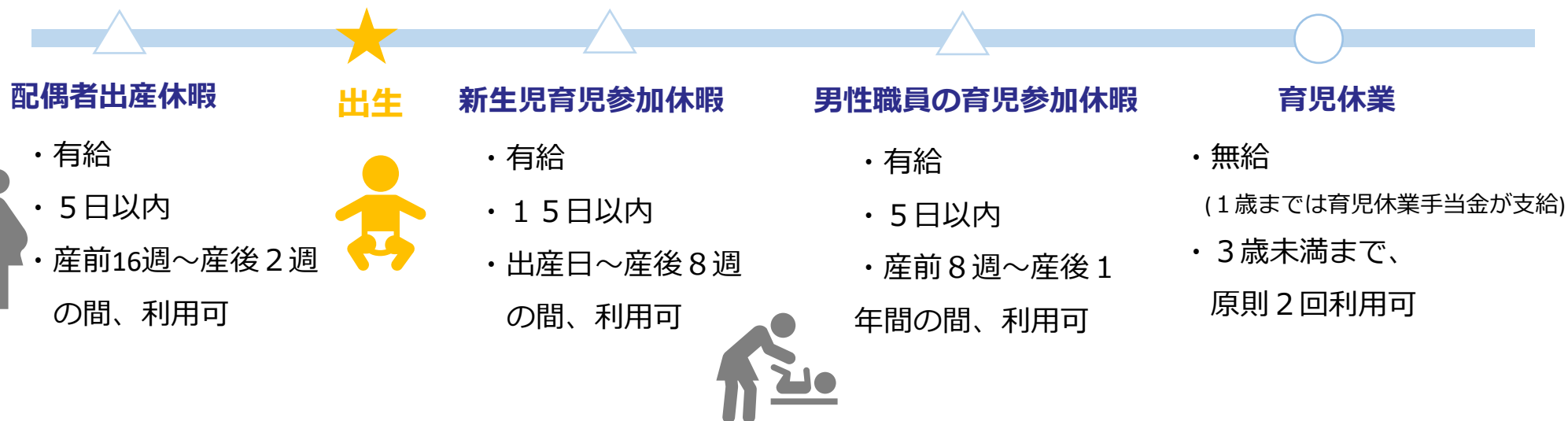


★子どもを保育園へ
通勤時の混雑緩和

04 ワーク・ライフ・バランスについて

子育てのための出産・育児支援制度（一例）

● 出生前後



● 育児休業復帰後（保育園入園後）

- ・ 入園直後のならし保育期間中に「育児時間休暇」
※ 有給・1 日 2 時間以内・1 歳 6 カ月まで利用可
- ・ 子どもの体調不良時に「家族看護休暇」
※ 年 5 日以内・有給



04 ワーク・ライフ・バランスについて

◎ワーク・ライフ・バランスの効果は？

- 無理な長時間労働が少なく、健康に働ける
- 仕事に集中でき、成長を実感しやすい
- プライベートの時間も大切にできる
- 将来の生活をイメージしやすく、長く働ける など

◎実際、茨城県庁の現状は？（※個人の感想）

- 時代に合った**働きやすい環境づくり（制度）**が着実に進んでいる。また、上司をはじめ多くの職員が制度を活用しており、**無理なく利用できる雰囲気**が根づいてる。
- 所属長を中心に、**残業を前提にせず、時間内に仕事を終わらせよう**という考え方が共有されている。

05 最後に、本日参加していただいた皆様へ

◎県庁の仕事とは

- ◆ 「茨城県をより良くするために何ができるか」という視点で、現状や課題を分析し、自ら考え、形にしていけるやりがいのある仕事です。
- ◆ 幅広い業務に挑戦できる環境の中で、経験を重ねるたびに自分の成長を実感でき、人との出会いが新たな可能性を広げられる仕事です。
- ◆ 社会が大きく変化する今だからこそ、その変化をいち早く捉え、スピード感をもって政策に反映するため、学び続け、挑戦し続ける姿勢が求められる仕事です。

◎県庁の勤務環境・働き方

- ◆ 休暇制度や子育て支援策の充実、そして職場全体の意識改革により、安心して働ける環境が整っています。
- ◆ その一方で、限られた勤務時間の中で効率とコスト意識を持ち、成果を出す働き方が求められます。

**茨城県庁の仕事に少しでも関心を持っていただけたらぜひ志望してください。
皆さんと一緒に、茨城県の未来を創っていける日を楽しみにしています！**